

富津市次世代育成支援行動計画推進会議議事録

| | | |
|----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 会議の名称 | 富津市次世代育成支援行動計画推進会議 |
| 2 | 開催日時 | 平成21年10月9日 午前10時00分～11時20分 |
| 3 | 開催場所 | 市役所2階 第3委員会室 |
| 4 | 審議等事項 | (1) 富津市次世代育成支援行動計画の20年度 の取組状況と21年度の事業計画について (2) 富津市次世代育成支援行動計画におけるニー ズ調査結果について (3) 後期計画策定におけるスケジュールについて (4) その他 |
| 5 | 出席者名 | ○委員(12) 渡邊まさ子、前田道夫、小原生代、加藤岡知子、 長嶋徳兵衛、稲村重夫、坂本秀則、杉崎敬、萱野孝夫、青木 和彦、長谷川令子、矢房麻里子 ○事務局(4) 森田健康福祉部長、石井児童家庭課長、鈴木主幹、 平野主査 ○オブザーバー 副市長、総務部長、企画財政部長、経済環境部長、建設部長、 教育部長、行政管理課長、企画政策課長、社会福祉課長、健康 づくり課長、市民課長、管理課長、建設課長、街づくり課長、環 境保全課長、庶務課長、学校教育課長、教育センター所長、生 涯学習課長、体育振興課長、社会福祉協議会事務局長、富津公 民館館長、市民会館館長 |
| 6 | 公開又は非公開の別 | <u>公開</u> ・ 一部非公開 ・ 非公開 |
| 7 | 非公開の理由 | 富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由) |
| 8 | 傍聴人数 | 0人(定員5人) |
| 9 | 所管課 | 健康福祉部 児童家庭課 電話 80-1256 |
| 10 | 会議録(発言の内容) | 別紙のとおり |

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

平成21年 月 日

会議録署名委員 渡邊 まさ子

会議録署名委員 青木 和彦

富津市次世代育成支援行動計画推進会議録

| 発言者 | 発言内容 |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石井課長 | <p>皆さんおはようございます。昨日は台風で悪天候でございましたが、今日は台風一過、晴天となったわけでございます。それでは富津市次世代行動計画推進会議をはじめさせていただきます。はじめに渡邊委員長よりご挨拶をお願いします。</p> |
| 渡邊委員長 | <p>皆さんおはようございます。いつも次世代育成支援行動計画にご協力をいただきましてありがとうございます。昨日は台風18号で皆様のご家庭では被害はなかったでしょうか。どんなに準備をしても天気だけは準備をしきれないですね。それでも宇宙飛行士の若田光一さんは、あらゆるアクシデントを想定してそれをクリアして準備をすることに成功のカギがあるとおっしゃっていました。私たちの行動計画もちょうど今年で5年の前期が終了し、来年度からは後期の計画が始まります。あらゆる準備を重ねて子どもたちが健やかに成長できるように皆さんから忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。どうぞ今日はたくさん議題がございますので、よろしくご審議お願いいたします。ありがとうございます。</p> |
| 事務局(石井) | <p>ありがとうございました。それでは会議に入る前に資料の確認をさせていただきます。皆様にすでにお送りをしているわけですが、推進会議の次第でございます。次に資料1としまして、富津市次世代行動計画の年度比較ということで、こちらは机の上に置いてあるかと思えます。お送りしたものと差替えでございますのでよろしくお願いいたします。続きまして資料の2でございます。平成21年度事業計画ということで、こちらも机に置いてあるもので会議を進めたいと思えますのでよろしくお願ひしたいと思えます。続きまして資料の3でございます。次世代行動計画の平成20年度の取組状況と21年度事業計画でございます。続きまして資料の4、国における次世代育成支援対策行動計画の経緯でございます。次に資料の5といたしまして富津市の現状、次に資料の6といたしまして、富津市次世代育成支援に関するニーズ調査結果でございます。そして既にお送りしてございますが、富津市次世代育成支援に関する</p> |

るアンケート調査報告書でございます。資料は大丈夫でしょうか。それでは会議に入りたいと思います。設置要綱第6条より、委員長が会議の議長になるということになっておりますので渡邊委員長に会議の議長をお願いします。

渡邊委員長

それでは議長を努めさせて頂きます、議長の渡邊です。どうぞよろしくお願いたします。座らせていただきます。本日の会議は欠席者8名で過半数の出席がありますので、成立いたします。そしてこの会議の議事録書面については、こちらで指名させて頂いてよろしいでしょうか。それでは青木委員に本日の議事録署名人をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いたします。

青木委員

はい、了解いたしました。

渡邊委員長

それでは本日の議事録は、後日事務局より委員の皆様へ送付させていただきますのでご確認をお願いいたします。それでは議題に入ります。はじめに議題(1) 富津市次世代育成支援後期行動計画の20年度の取組状況と21年度の事業計画について、事務局の説明を求めます。

事務局(平野)

はい、それでは議題2の(1) 富津市次世代育成支援後期行動計画の20年度の取組状況と21年度の事業計画についてご説明いたします。説明の前にお詫びを申し上げます。本来であれば20年度の取組状況と21年度の事業計画におきましてですが、4～6月にこの会議を行う予定でしたが、アンケート調査の実施等により会議が遅れたことをお詫びいたします。座らせていただきます。

それでは議題2の(1)についてご説明します。ここでは、お手持ちの資料1～3に従いましてご説明いたします。資料3の方ですが、こちらの資料については、21年度9月現在で取りまとめた資料となります。

それでは20年度の取り組み状況についてご説明いたします。資料1をご覧ください。資料1に目標と書かれた事業があります。こちらは富津市次世代育成支援計画から成る一部の事業目標からピックアップしたものです。20年度に取り組んだ事業といたしましては、158事業を行っております。そのうち継続事業が132、拡大事業が12、縮小事業が2、検討事業が6、未実施事業が6事業

となっております。資料の見方ですが、資料2の拡大と書かれた2番目の欄ですが、備考欄に資料3のページをふっております。資料3をお出してください。

資料3の4ページをご覧ください。妊娠・乳児検診の助成と書かれた部分があります。こちらの平成19年度と20年度の取組状況を比較しますと、妊婦検診の数が2回から5回に増えています。したがって、この事業は拡大した事業ということを示しております。

続きまして資料3の22ページをご覧ください。児童相談所と富津市との情報交換会議とございます。こちらですが、19年度と20年度を同じく比較しまして、年間開催数が6回から12回に増加しています。

続いて34ページをご覧ください。学校評議員制度と書かれた部分があります。6小学校2中学校で取組んでいたものが、小中学校すべてで取組む拡大事業となりました。

続いて21年度事業計画について説明をします。お手持ちの資料1をご覧ください。今年度計画している事業は160事業、そのうち継続が130、拡大事業が13、縮小事業が2、検討事業が6、未実施事業が5事業となっております。平成21年度事業計画につきまして、同じく資料3をご用意ください。

先ほどと同じような説明となりますが、4ページの妊娠・乳児検診費用の助成があります。こちらですが、妊婦検診を5回行っていたものが今年度は14回に拡大しております。

つづきまして資料3の8ページをご覧ください。幼児ことばの相談室があります。こちらですが、20年度は7月に1回しか行われなかったものが、今年度は12月と7月に2回、相談会を実施しております。

続いて22ページをご覧ください。富津市児童虐待防止連絡会議と書かれたものが上から2番目にごございます。こちらは、19、20年度で未実施でしたが、今年度立ち上げを予定しております。ただいま準備を進めている段階です。

そして、先ほど新事業が4事業加わったと申しましたが、最後のページの資料3の54ページをご覧ください。認定こども園について

て、みなと幼稚園にて今年4月より始まっております。保育料第3子無料化についても今年4月より行っております。子育て応援特別手当についても、対象児童1人について3万6千円を支給しております。移動図書館車は今年度より新しい移動図書館車になりました。こちらの4つを加えて新規事業といたしました。簡単ではございますが、議題2の(1)についての説明を終わらせていただきます。

渡邊委員長

ありがとうございました。委員の皆さん何かご質問はございますか。

萱野委員

新規事業について説明をお願いしたい。54ページの上から3番目の子育て応援特別手当は単発的な事業であったと思います。先ほど9月30日現在ということでご説明があったわけなんです、10月1日に確か事業自体が終了していると思いますが、その時点での対象件数498件、512件に対してどのくらいの数値が出ているのか、あるいは出そうなのか、そのあたりが分かりましたら教えて頂けたらと思います。

渡邊委員長

それでは事務局お願いいたします。

事務局(石井)

今のご質問でございますが、子育て応援特別手当ということで、国の緊急経済対策でございました。ここに書いてありますのが対象件数498件でございます。10月1日では512件ということで書いてありますが、実際は517人ということで、すべての方々に支給を終了いたしました。

渡邊委員長

ありがとうございました。他に委員の皆さんご質問はございませんか。よろしいでしょうか。続きまして議題(2)に移りたいと思います。議題(2)について、事務局に説明を求めます。

事務局(鈴木)

議題(2) 富津市次世代育成支援行動計画におけるニーズ調査結果について説明をいたします。座らせていただきます。資料5をお願いしたいと思います。

資料5に富津市の現状がございます。こちらについて、私から説明をいたしますが、その前に資料4がございます。国における次世代育成支援行動計画の経緯がございますけれども、こちらにつきましては少子化傾向が注目されました、平成2年からの国における次世代育成支援行動計画を記載したものでございます。説明の方は省

略をさせていただきますので、参考にしていただけたらと思います。
ニーズ調査については、調査を実施しましたちばぎん総合研究所よりお願いしたいと思います。

(資料説明)

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは委員の皆さん、富津市の現状とただいまのニーズ調査結果にございまして、何か質問がありましたらお願いします。

矢房委員

幼稚園代表の矢房と申します。学童保育についてお伺いしたいのですけれども、いま富津市の学童保育は、青堀地区の方は青堀保育園、富津地区の方は富津保育園、飯野地区の方は飯野小学校で行っていると伺いました。私の息子は来年小学校に通います。私はフルタイムで仕事をしておりますので、当然学童保育に入れないと仕事が成り立ちませんのでお世話になる予定なのですが、先日市役所にお伺いしたところ、青堀小学校の方は基本的に青堀保育園でということでお伺いしたんですが、青堀保育園に問い合わせをしたところ、定員がいっぱいで無理であろうと、基本的に青堀保育園の卒園者が優先で入ってしまうので、私は明澄幼稚園さんでお世話になっているので、基本的に他の幼稚園さんでは無理であろうと、他のところをあたってくださいという回答をいただきました。青堀小学校に通っている児童が入れない場合は富津保育園で、という話をいただいたんですけれども、富津保育園は青堀小学校からは遠いですよね、ですのでバスで送り迎えするというお話をいただいたんですが、そうすると学童保育＋交通費がかかるということで経済的負担が大きくなってしまいます。この富津市のなかで一番生徒数が多いのは青堀小学校だと思うんですが、青堀小学校のなかで学童保育がないという話をお伺いしました。周りのお母さん方にお伺いをして、小学校に入ったらそろそろ仕事をしたいというお母さんがかなり多いと聞いております。今回この委員に出るということで、周りのお母さんからぜひ青堀小学校で学童保育を行っていただきたいとの要望を預かってきたんですけれども、その点についてお伺いしたいと思います。

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは事務局よりお答えをお願いします

| | |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局(石井) | <p>ます。</p> <p>それではお答えをいたします。現在学童保育クラブについては、富津市では5箇所で行っております。基本的には、青堀小学校にお入りになる方は、いわゆる青堀保育園の学童保育、飯野小学校にお入りになる方は飯野の学童クラブということで進んでいます。青堀保育園の学童保育が本当に人数が多くてなかなか入れないという現状については我々は認識しておりますので、この場で対策については申し上げられませんが、今後そういったお話があるということをごまえて対応をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> |
| 渡邊委員長 | <p>ありがとうございました。そういったことでよろしいでしょうか。それでは良い方向で協議していただけますよう、お願ひいたします。それではもう一方、どうぞ。</p> |
| 萱野委員 | <p>ちばぎん総研の方へご質問をさせていただきたいと思います。今回アンケート調査をまとめたわけですけれども、就学前児童につきましては、国のモデル的なものでアンケートを実施したというご説明があったわけなんです、都市部におきましては待機児童の問題がものすごく大きくなっているんですね。この報告書のなかをみると、施設の増設というのは10数パーセントということで低くはなっているんですが、この富津の特徴というか骨格が見えてきたと思うんですよ。この計画書を作るにあたってどういう方向で進もうかと、これは市との協議が出てくるとは思うんですが、どういう方向で進むべきかなというものがもし出来あがっていたら、考え方を教えていただきたい。</p> |
| 渡邊委員長 事務局(ちばぎん総研) | <p>それではちばぎん総研さん、お願ひします。</p> <p>方向性についてはこれから市と協議をするところであり、まさに今日の午後に検討というところです。富津市の特徴について私の私見で申し上げますと、先ほどご指摘があったように、保育所は非常に整備されており、定員も充足していて他市の児童さんも受け入れていらっしゃるということで、非常にすばらしい姿勢であると思います。</p> <p>一方で、受入体制が充実しているので多くの方が保育所を利用さ</p> |

れている、そういったことでは就労されている方も一定数いらっしゃるというわけですが、そういった方のお子さんが小学校に上がったときに、先ほど委員の方からもお話があったように、連続した保育ということで考えますと、小学校にも学童保育があることが望ましいと思います。小学校に入ってからどこに預けようかと迷うお母さん方も多いと思うんですね。私もそうでしたので、そういった意味では、保育園から学童保育へ一貫して保育の見通しができるという方向性で、今後充実が図られることは大変すばらしいと思われま

す。

またもう一点の特徴として、働いているお母さんがおじいちゃんやおばあちゃんに預けている、あるいは手を借りて就労している母親の割合が高いような気がいたします。おじいちゃんやおばあちゃんも含めた家庭で保育をなさっている方に対しての一時預かりなどの支援もそうですが、一緒にどこかに行って親子で仲間づくりができる、子どもと一緒に遊べる場所や機会の充実というのは、待機児童は都市部に限った問題ですが、そういった場の充実は全国的にも言われていることかと思しますので、そういった方向性もすばらしいのではと私の私見ですが感じております。

よろしいでしょうか。はい、それでは事務局どうぞ。

今ちばぎん総研からのお話があったわけですが、いま議題になっているのは26年度までの後期計画をふまえてのアンケート調査ということでございます。先ほどお話があったわけですが、富津市においては待機児童はおりません。入所率はだいたい70%ぐらいでございます。他市からも希望があれば受け入れているという現状があるわけでございます。今日はアンケートで市民が何を望んでいるかということを示させていただきまして、後でスケジュールともどもお話を申し上げますけれども、今後後期計画のなかで何を富津市として入れていくべきなのか、また出生率をあげるにはどうすべきかということの皆様のご意見を伺いながら進めていきたいというところでございます。今日の段階では、現状がこういう状況だということでお示しをさせていただきましたので、この内容を踏まえてですね、また次回に会議がございますので、そのと

渡邊委員長
事務局(石井)

きに皆様の忌憚のないご意見を述べていただきまして、それを後期計画のなかに反映できるかということも判断させていただいて次の5年度計画を作ってまいりたいと、このように考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

渡邊委員長

はい、ありがとうございました。とりあえず今日は結果を報告していただきましたので、委員の皆様もそれぞれ只今事務局からご説明がありましたように、これからの5年間に期待をしていきたいと思ひますので、皆様もぜひ忌憚のないご意見をお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。他に何か質問はございませんでしょうか。

小原委員

いつもお世話になります。久しぶりにこの会議が開かれましたことをまず感謝申し上げます。それと、この資料を送ってきていただいて全部見させていただいたんですけれども、その意見を今日のお話ですと目を通してというようなことでございましたので、この場で申し上げるのはあれかとは思ひますけれども、また前回のように書けるような用紙というかそういったものもいただけるのでしょうか。

それをまず質問させていただきたいのが1つと、また、このちばぎん総研さんのアンケートを見ていて、乳児というか就学時前のお子さんと学校に上がっている子どもに分けているのに、ベビーシッターという言葉が入っていたり、ベビーというのはじゃあ大体何歳くらいを言っているのかということですか、また雛形があつてやっていることであるのですが、ちょっと街にそぐわない保育ママというようなものは誰も立ち上げていないのにそういう質問がさらつとしてあつたりとか、なんかちょっと雛形をそのまま写すというよりはそれが元手になってくるのでしょうかけれども、ちょっと違ひかなということを感じました。

それから1つ付け加えさせていただきたいのが、いろいろ拡大事業をしたということでしたけれども、ことばの教室というものがあつて、この資料の3の8ページにあるんですけれども、相談回数が増えたとかいうことで喜びを感じていらっしゃるようですけれども、こちらから意見を言わせていただくと、部屋が広すぎるという

ことや、回数が少なく親は教室センターの5階までノコノコとニコニコと笑って行けるかということ、まず親の立場になって考えてもらいたい。やればいいのかね、広い場所でやれば証拠にはなりませんけれども、親はいい気持ちで行っているのではないということ、肝に銘じてもらいたいし、立場になればあんな風がびゅうびゅう吹いてね、ガタガタするようなところで出来るはずがないと思います。例えば、市役所のなかでもし利用を考えるならば、ちばぎんキャッシュコーナーの間になる座敷のような狭いところで、そうとこっそりとやっていただくと誰が来たのか分からないし、どなたの目にもふれずに何となく終わるというのがあって、教育相談を事業としてやっていただいています、それも部屋が変わったり、天気によっては大風が吹いて、ただでさえ微妙な子ども達に、そこでしゃべっていなさいとか、テストをするよ、なんてことはちょっとひどすぎると思っています。そのへんにご配慮をお願いしたいと思っています。よろしくお願いします。

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは只今の質問に対しまして事務局お願いします。

事務局(石井)

それでは3つ質問があったと思いますけれども、1番と2番についてお答えをいたします。

この会議で語りつくせないと思いますので、最後に委員長からお話を申し上げる予定でございますが、ご意見がありましたら紙を用意してございませんが、紙に書いて提出をしていただくということで今日の会議はこのようにしたいと先ほど委員長とご相談をいたしました。

2番目でございますが、アンケートのなかにですね、ファミリーサポートセンターとかベビーシッターとか、いわゆる富津市で実施をしていない事業が入っているというご指摘でございます。国のアンケートのなかでこれを入れなさいというのが1つと、もう1つはですね、実施していないわけでございますが、どれくらいの希望があるのかということも含めてですね、どれほどの希望があるかということでアンケートをとらせていただきましたのでご理解をしていただければと思います。3点目の言葉の教室については・・・。

| | |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>渡邊委員長 教育センター (今井)</p> | <p>はい、それではお願いいたします。</p> <p>ことばの相談室についてお答えをさせていただきます。小原委員の貴重なご意見ありがとうございます。私達の方でもこちらが2回になったからそれでいいと、そういうふうには考えていませんし、また場所についても今のご意見を勘案しながら今後また配慮していきたいと思います。どうもありがとうございました。</p> |
| <p>渡邊委員長</p> | <p>はい、ありがとうございました。現場でなければ見えない視点というのが沢山あるかと思imasuので、どうぞ委員の皆さんの現場でなければ分からない意見を出していただきたいと思imasu。事務局からもご説明がありましたように、最後に皆さんにご説明をしようと思っていたんですが、この会議で言い出せなかった部分、また各組織に持ち帰って「現場では今このようなことに困っている」とか、「こんないい方法があるよ」ですとか、現場でなければ分からないことが沢山あると思imasuので、この場だけが会議ではありませんので、皆さんの毎日が会議の延長であると思imasuので、忌憚のないご意見をできれば文章で事務局の方へ寄せていただきたいと思imasu。ありがとうございました。他に何かござimasuでしょうか。よろしいですか。はい、杉崎委員どうぞ。</p> |
| <p>杉崎委員</p> | <p>それでは私の方は青堀小学校なんですが、他の富津市の地域とたぶん家族構成なり世帯なりが違っているんだろうと思imasu。子ども達が減少するなかで青堀小に関しては現状維持ということは、新しい、先祖代々から住んでいる俗に言うめずらしい家族とは違うからかなと、核家族が中心となった比較的新しい家族が増えているんだろうと解釈しております。そういうなかで、例えば昨日の台風を例にとると、富津市全小学校は休校したわけですがけれども、そういうときに突然ですので、親たち・家族はどう子どもたちをしたのか、ということはずね、まあアンケート調査をしたわけではありませんがさぞや困った親もいるのでは、ということの特に青堀地区に関してはそんなふうと思imasu。</p> <p>また、現在ご承知のようにインフルエンザが大流行しているわけなんですけれども、これに関しても私たちもしっかり家庭で子ども達の健康を見ていただきたいと思imasuし、症状が少しでもある場</p> |

合にはお医者さんへ行くとかですね、いろいろな対応をしてほしいと話しているわけなんですけれども、私が感じているところの1つは、共稼ぎをしている親であるとなかなか休めない、それは色々なご事情があるのでしょうかけれども、そういう形で子どもを少くらいであれば学校に来させてしまうという現状があるような気がいたします。

もう1つは、親がそんなことはどうでもいいと、残念ながら無理解ですね、理解をしていただけない親もいるということも現状であります。ですからそういうことで子どもたちも学校に来たいわけがありますので来てしまう。現在の新型の場合には、たった1人から多くが感染力が強いために感染してしまって、学校・学級とかが閉鎖になる現状も確かにあるような気がいたします。そういう意味では今後の話になるかとは思いますが、そのときの相談体制であるとか、私たちにも話をしていただけることもあるんですが、そういったことも体制として必要かなと思っています。ですから先ほどアンケートのなかでそのときどう対応したかということが、特に私としては学校側の就学後としてどうしたかということが、もし結果としてあれば教えていただきたいと思います。

それから学童保育について先ほど話が出ましたので申し上げますと、私が把握をしているところでは青堀保育園の学童、富津保育園の学童というのは、行政との関係もあるんでしょうけれども、基本的には私立なんですか。だというふうに思っておりますので、なかなか卒業生をどう対応していくかということが難しいんでしょうけれども。青堀小学校にはないんですけれども、学校に言ってもしょうがないかもしれません、学童保育を青堀小学校が欲しいという声をあまり聞きません、正直に言って学校現場としては。いろいろ懇談会とかを行っていますけれども、特に意見としてどうしてないのかという話は、私はもう4年になりますが1人や2人ぐらいいは聞いたような気がいたしますけれども。むしろ、君津の方から私たちのところへ転向してくる子が多いんですけれども、その場合には君津で学童保育をしてもらえないから青堀保育園に入れたので、だから転校してきたという話は今年になってありました。そんなケースも

ございました。実際には潜在的に親御さんたちがどういう意識で考えているか、私はいまのところ新たには把握はしておりません。以上でございます。

渡邊委員長

ありがとうございました。只今学校の現状の方もご報告をいただきました。後ろのアンケート調査の報告書に色々なご意見を書き添えてくださっていますので、もしかしたらこのなかに入っているのでは……。事務局すいません。

事務局（ちばぎん総研）

病気の小学生をお持ちの親御さんがどのような対応を行われたかということの調査がございまして、分厚い報告書の73ページをご覧ください。そちらに学校を欠席した状況が一番上でございます。そこが「あった」「なかった」というわけですが、その下に対処方法がありまして、これは残念ながら厚生労働省の項目を使っておりますので、富津市さんならではの項目にはなっておりませんが、「その他」でわずかな方が書いてくださった回答内容がページの一番下に出ております。仕事の合間を見て家へ帰った、仕事場へ連れて行き休ませた……。など等の具体的な内容が伺えます。こういった対応が見られます。病気なのに子どもを学校に行かせたという項目はないので、そのあたりは分かりませんが、こういったアンケート結果となっています。

渡邊委員長

ありがとうございました。いま杉崎委員からあったことは私事というか私の聞いた話となりますが、ケガをしているのに病気なのに学校に行かせたという話は、私の知っている限りでは他の市ではあったように思うんですね。例えばちょっとどこかで手を怪我したとかは学校の保健室でやってもらいなとか、少しくらいの熱であれば学校に行って友達と遊んでいれば治るからとか、そういったことで学校に出してしまうという学校現場からの悩みは伺ったことがあります。富津市ではまだそういった情報が入っていないのかもしれませんが、他の市ではそういった話は伺っております。すいません、只今の議題（2）についての他に質問、ご意見はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは議題（3）に移らせていただきます。後期計画策定におけるスケジュールについて事務局の説明をお願いいたします。

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局(平野) | <p>それでは議題2の(3)後期計画策定におけるスケジュールについて簡単にご説明いたします。只今会議の内容で出ましたように、後期に向けてのアンケートは終了いたしました。こちらのニーズ量については、国の質問事項に答えるような形になりますが、9月上旬に国へ報告を行いました。そしてこの後期計画書を作るにあたり、なかに盛り込む事業について各課とヒアリングを8月に実施いたしました。現在それらについて取りまとめをしている状況です。</p> <p>今後ですが、それらを取りまとめたうえで、各課との調整を図り、また庁内での議論をしたうえで、来月11月頃この会議を設けて審査をしていただきたいと思います。その際には後期計画の素案を提示いたしますのでよろしくお願いいたします。簡単ですが説明を終わらせていただきます。</p> |
| 渡邊委員 | <p>ありがとうございます。ただいまの説明に対して質問などはございますか。後期の策定についてあと2回ぐらい会議を予定されているんですか。</p> |
| 事務局(平野) | <p>先ほど述べたように11月にですね、素案というかこういう形で行きたいというものを委員さんに示しまして、そこでまた議論をしていただいて、それが今度まとまりましたら、市のパブリックコメントをだいたい1月頃に予定しております。また、パブリックコメントが終わった時点で、2月頃にこの会議を予定しておりますので、それで最終的に本計画策定となります。</p> |
| 事務局(石井) | <p>すいません、スケジュールについては今平野から言ったとおりでございますけれども、11月の中旬にこの会議を開催したいと考えております。それで12月にですね、議会報告ですとか色々ございますので、12月にパブリックコメントを実施してですね、1月ないし2月にまだはっきりとはしませんが、この会議を開催させていただいて、最終取りまとめとさせていただきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひしたいと思っております。</p> |
| 渡邊委員長 | <p>はい、只今事務局より説明がありましたように、この後11月の中旬にもう一度会議を開く予定でおります。そして、今後については事務局から説明があったとおりのスケジュールとなります。どうぞよろしくご協力お願ひしたいと思います。他にご質問やご意見は</p> |

小原委員

ございませんでしょうか。はい、小原委員どうぞ。

最後に1つというか、これらを全部読ませていただいて思ったんですが、このなかに発達とか発育という言葉が多いんですけれども、果たして皆さんどのくらい全ての市内の方がですね、発達障害という言葉のご理解、理解度がどのくらいあるか、親との行政との学校との温度差がいかにあるか、ということを感じていただきたいなど常々思っております。

それで1つ提案をしたいんですけれども、前も提案させていただきましたが、なかなか発達障害の概念が皆さんに届きませんので、そこで大胆な提案をさせていただきたいんですが、できましたら母子手帳を配ったりその後の1歳半検診などがございますけれども、けっこう参加者が見られるんですが、そういうときに千葉にございます「発達支援センター（CAS）」と申しますが、そちらのパンフレットが有料であるんですけれども、たぶん下の福祉の方で持っていらっしゃる方がいるかと思うんですけれども、それを必ず挟んであるいは皆さんに離乳食の与え方ですとか遊び方といったものと共にですね、お渡ししたいと思っています。

それで、なかなか私が提言させていただいた子どもの発育状況のパンフレットが変わりません。印刷するすると言ってもずっと同じでやっているし、その保健師の方のお声のかけ方に不満がございます。すべての子どもがJASマーク付きではございませんので、親が悪いのではなく育てにくくて育ててる親もいますので、どうぞそのへんもご理解をいただいてやっていただきたいというのが1つと、それから資料の大きいアンケート報告書に親のいろいろな意見がこと細かく書いてありましたけれども、どれも行政が言うようなハコモノ規模であって、図書館ですとか児童館とか遊具が古いとか、遊ぶ場所がないという意見が多数であって、実際自分の子どもを誰も見ていないですね。どれくらい自分の子どもがわかる、できる、やれるといったことに着眼点をどなたも持っていないことが私は不思議でなりませんでした。育てづらけれども愛情が沸きにくいけれども、長年やってますと愛着が子どもの方から沸いてきますし、親の方も可愛いと思えるようになってくるので、正しい方向性をで

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>すね、行政として示していただきたいと思います。路頭に迷わせたり、あるいは早期判断をして、あなたは勝手に探せばいいというようなことにどうぞなさないように今後は指南をしていただきたいと強くこれを読んで思いました。よろしく願いいたします。</p> |
| <p>渡邊委員長</p> | <p>ありがとうございます。只今小原委員より貴重なご意見をいただきましたので、事務局の方々どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はい、それではどうぞ。</p> |
| <p>健康づくり課</p> | <p>どうも貴重なご意見ありがとうございました。健康づくり課と申します。今のお話ですが、現在計画書には載っておりませんが、1歳6ヶ月、特に3歳児健診のときに、今年度より各健診が終わりましてその後に発達について心配されている親御さんに対しまして、今までは市の保健師が担当しておりましたが、今年度よりそれに加えまして君津特別支援学校の特別支援コーディネーターさんを依頼いたしまして、同時に発達相談を行っている状況であります。また、母子の心身等の健康向上のために適切な支援ができますように、子どもの発達状況に応じまして、各部署で連携体制の充実を図っているところでもあります。また、今お話がありました発達支援センターのパンフレットについてですが、確認いたしまして今後考えていきたいと思っておりますので、どうぞご理解よろしく願いしたいと思っております。以上でございます。</p> |
| <p>渡邊委員長</p> | <p>ありがとうございます。市の方の対応もご説明いただきましたが、よろしいでしょうか。他に何かございませんでしょうか。議題（3）につきまして他にございますか。事務局の方からございますか。</p> |
| <p>事務局(石井)</p> | <p>特にございません。</p> |
| <p>渡邊委員長</p> | <p>それでは議題（3）は終了させていただきます。それでは議題（4）に入りまして、その他について事務局さんから何かございますか・</p> |
| <p>事務局(石井)</p> | <p>特に事務局の方からはございません。</p> |
| <p>渡邊委員長</p> | <p>はい、委員の皆さんはいかがでしょう。</p> |
| <p>青木委員</p> | <p>議事の関係ということではないんですが、ちょっと確認をさせていただきたいことがあります。というのは冒頭議事録の件で、先ほど委員長さんは議事録が出来次第お送りします、というようなお話</p> |

をいただきましたが、以前この会議の議事録というのは郵送されてきていました。昨年の会議のときに私はどうしても都合がつかずに欠席をさせていただきましたが、その議事録の件を聞きましたら事務局ではホームページを見てください、そこに載っていますというような形で答えがありました。今後議事録については郵送されるのか、ホームページで自分で見るのか、そのへんの確認をしたいと思っています。

渡邊委員長

ありがとうございました。私もその件につきましてはホームページの方は確認しておりませんでしたので申し訳ございません。以前は青木委員がおっしゃったように、議事録が出来次第、各委員に送付していたものですからその感覚で今日お話をしてしまったわけなんです。事務局よりこの議事録に関する扱いについて説明をお願いいたします。

事務局(石井)

大変申し訳ございません。議事録につきましては署名をしていただきまして、委員の皆様全員に郵送させていただきますのでよろしくをお願いいたします。

青木委員

昨年のもはようになりますか。

事務局(石井)

出来次第、昨年のもも含めてお送りします。

青木委員

ホームページは20年のものがアップされているんですね。

事務局(石井)

出来次第、お送りいたしますのでよろしくをお願いいたします。

渡邊委員長

議事録について行き違いがありましてすいません。それでは事務局さん、そのようお願いします。他に何かございますか。議題とは関係なくて結構ですので、それぞれの団体さんで何かありましたらお願いしたい。青木委員お願いします。

青木委員

これは後ほど文書にしてお送りしようかと思ったんですが、次世代に関わると思いますけれども、市のホームページを拝見したときに、一番初めに出てくる画面で親が探したい項目や子育てに関してどこを見たらよいか、ということがすごく分かりづらくなっています。他市のホームページを拝見すると、子育て支援についてとか、そういう部分ではっきりと分かりやすくなっています。そういった点ではホームページ、インターネットを使う方も増えてきておりますので、ホームページが見やすい、分かりやすい、自分の探したいこと

がすぐに分かる、といったようなそういったトップページにしても
らえたらありがたいなと思います。というのも、今回議事録を探す
のに結構苦勞したものですから、そのへんをよろしくお願ひしたい
と思います。以上です。

渡邊委員長

ありがとうございました。それでは只今のご意見、事務局よりお
願ひします。

企画財政部長
(中村)

ホームページに関しましては、平成22年度の来年度に全面的に
リニューアルをしますので、その点を考慮に入れまして行っていき
たいと思っております。

渡邊委員長

ありがとうございました。よろしいでしょうか。他に何かござい
ますか。その他につきましてよろしいでしょうか。一応この会議は
12時までを予定してありますが、皆さんのご意見がなければ閉
会させていただきたいと思ひます。よろしいでしょうか。それでは、
事務局よりお願ひします。

事務局(石井)

それでは委員長さん大変にありがとうございました。それでは以
上を持ちまして富津市次世代育成支援行動計画推進会議を終了させ
ていただきます。大変にありがとうございました。